

2018年末～2019年度当時		地域課題	
東寺方複合施設を良くする市民懇談会の意見	市の考え方	地域課題☒	キーワード
遊ぶ前に宿題などを行える、勉強スペースがほしい。		地域の居場所	学習の場
図書館は、子どもの調べ物学習や、有志の保護者によって小学校で行われている読み聞かせの本を探す際にも利用されている。		地域の居場所	学習の場
最近建築された和田・東寺方コミュニティセンターは、窓が大きく明るい建物であり、ロビーでは多くの子どもたちが勉強している。東寺方複合施設も同じように明るく人が集う施設となってほしい。		地域の居場所	学習の場
東寺方図書館の開館時間は17時までだが、近隣市では22時まで開館している図書館もある。 もう少し開館時間を拡大してほしい。		地域の居場所	学習の場
図書館に勉強できるスペースがほしい		地域の居場所	学習の場
老人福祉館での食事会の手伝いをしている。毎回40人ほどの参加がある人気のイベントなので、改修後も継続したい。		地域の居場所	食でつながる 孤立・孤独 地域福祉 つながって暮らす
児童館で宅配弁当が頼めれば、保護者も自分のご飯の心配をしなくてよいので、より滞在しやすくなる		地域の居場所	食でつながる 孤立・孤独 地域福祉 つながって暮らす
企業と連携して「食堂」をオープンし、住民の健康増進を図るプログラムなど、民間事業者と連携	今後、公共施設を効果的・効率的に運営し、市民サービスの向上や将来負担の軽減を図るには、民間事業者のノウハウや資金力を活用した取組みを行うことが有効だと考えています。 例えば、施設を改修する場合、施設1階にコンビニエンスストアや社会福祉法人等の事業所をテナントとして入れ、賃借料を歳入として確保する等の取組みも考えられます。 市では、民間事業者との連携も積極的に検討していきたいと考えています。	地域の居場所	食でつながる 孤立・孤独 地域福祉 つながって暮らす
老人福祉館で 昼食会 を開催しているが、給湯室でお湯が出ないなど、 施設が老朽化 していて困ることがある		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	食でつながる 孤立・孤独 地域福祉 つながって暮らす
大人の目が届く 子どもの居場所 が必要		地域の居場所	子どもの安全
入口が暗く入りづらい ため、初めて利用する時に戸惑った。初めての利用者でも入りやすい、明るく開放的な入口にしてほしい。		地域の居場所	子どもの安全
遊戯室などは日当たりもよく、くつろげる空間		地域の居場所	子どもの安全

2018年末～2019年度当時		地域課題	
東寺方複合施設を良くする市民懇談会の意見	市の考え方	地域課題☒	キーワード
イベントが無い日はあまり人が集まらない。 施設内にふらっと立ち寄れるカフェがあれば、用事がなくても人が集う場になると思う。		地域の居場所	子育て世帯支援
小学生と幼稚園の子どもと利用している。 妊娠中や子どもが小さい時は、保護者や乳幼児向けのプログラムにも参加		施設のプログラム	子育て世帯支援 地域福祉 つながって暮らす
孤独になりがちな子育て中、児童館で職員や保護者と話す時間はとても貴重		地域の居場所	孤立・孤独 地域福祉 つながって暮らす
利用者同士の交流	夏祭りなど、施設全体で開催するイベントで利用者の交流があります。	地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
様々な年代の人が集う場であることは、複合施設の強みである。この強みを活かして、世代間交流の拠点となるような施設になって欲しい。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
世代間交流、市民の居場所となる、施設として存続させて欲しい。		地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
児童館を利用する児童に対して、市民ホール利用団体が教室を開催するなど、複合施設だからこそできる企画を、柔軟に考えるべき		地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
東寺方複合施設は多世代の地域交流の場として活用されているので、存続して欲しい。		地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
たまたま隣で練習していた演劇サークルの声掛けで、イベントを共催したことがあり、その後も情報交換などを行っている。同じ施設で活動しているのだから、団体が交流できる仕組みがあるといい。		地域の居場所	多世代、多様な人同士の交流 地域福祉 つながって暮らす
子どものスペースが広いことが特徴だが、騒音のトラブルなどもなく、子どもと大人がうまく共存できていると思う。		地域の居場所	アクティブな人と、静けさを求める人の共存
カラオケの会で利用		地域の居場所	趣味・活動
年に何度か行う発表会の会場になる、ホールがあると嬉しい。		地域の居場所	趣味・活動
楽器の練習で利用している		地域の居場所	趣味・活動
防音設備の整った部屋がない		地域の居場所	趣味・活動
写真サークル		地域の居場所	趣味・活動
多くの人と交流する場になっているので、特にお風呂は残してほしい。		地域の居場所	地域福祉 つながって暮らす

2018年末～2019年度当時		地域課題	
東寺方複合施設を良くする市民懇談会の意見	市の考え方	地域課題☒	キーワード
児童館は学童に入れない小学生の放課後の居場所となる。現在、一部の児童館で行っているランドセル来館をぜひ実施してほしい。		地域の居場所	
行政の力だけではなく、民間事業者や地域に住む学生など、様々な力を結集して運営する工夫を考えて欲しい。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	地域の居場所	多様な運営主体
トイレが暗いので、トイレトレーニング中の子どもが自分から行きたくなくなるような、きれいで明るい設備にしてほしい		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	子どもの安全
小学生と乳幼児と一緒に遊ぶことは難しい。授乳スペースを備えた乳幼児用の部屋は残してほしい。		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	子どもの安全
畳に直に座るのは足腰に負担がかかるので、椅子を使えるようにしてほしい。		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	バリアフリー
トイレをバリアフリー化してほしい。		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	バリアフリー
遠方からくるメンバーも多いが、駐車場の台数が足りない 他施設とも連携するなどしたい		今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	駐車スペースの確保
平成35年度が大規模改修時期とのことだが、改修しなくても建物はまだ使用できるのではないか。	建物の寿命は建設後60年程度であり、建設後約30年で大規模改修が必要となります。目に見えない空調や給排水等、設備の老朽化が進んでおり、安全に使い続けるためには大規模改修が必要です。	今の施設の課題・未来の施設に必要なデザイン	
複合施設で活動している元氣な高齢者の力を使って、施設を運営することは考えられないか。		元氣な高齢者の力を活かす	地域福祉 つながって暮らす
東寺方地域は、高齢者も元氣に活動し、人口も増加傾向にあるなど、活力のある地域である。東寺方複合施設の改修を機に、地域全体のことを前向きに考えるべきである。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	元氣な高齢者の力を活かす	地域福祉 つながって暮らす
基本設計と実施設計に2年間かかるとあるが、建替える場合はどのようなになるのか。	建替える場合、設計などの期間はさらに長くなると考えられます。	具体的な整備方法	改修・建替え
今後について、建て替えなのか大規模改修なのかを早く決定してほしい。	今後、皆さんとの対話やワークショップを進める中で、検討してまいります。	具体的な整備方法	改修・建替え

2018年末～2019年度当時		地域課題	
東寺方複合施設を良くする市民懇談会の意見	市の考え方	地域課題☒	キーワード
大規模改修と、建替えのどちらを行うのか。建替えを行い、集会所や防災分団小屋を含めた一体の施設としたほうが、地域も活性化するのではないか。	いずれも選択肢の一つであると考えており、改修にかかる費用や工期など、様々な面を比較する必要があると思います。しかし、厳しい財政状況に変わりはないため、現在より経費がかからない工夫が必要です。今後、皆さんとの対話の中で考えてまいります。	具体的な整備方法	改修・建替え 地域に必要な施設の整理
建替えと改修では議論の内容が異なる。早い段階で全体構想を固めることが必要である。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	具体的な整備方法	
改修では、現在の施設をそのまま残すのか、施設の機能を新たに考えるのか。	現在の機能をそのまま残すのではなく、将来を見据えた皆さんとの対話を通じて、役割・機能を再整理していきたいと考えています。	具体的な整備方法	
厳しい財政状況という問題もあるが、作りたい施設のイメージが先にあり、それから費用の話になるのが本来でないか。	厳しい財政状況の中、全ての公共施設を更新することは難しいため、皆さんとの対話により、使いたいと思っていただける施設となるよう、機能転換を図ってまいります。	具体的な整備方法	
地域全体のことも考えながら、隣にある自治会館や防災分団小屋と一緒に改修できるとよい。		東寺方地域に必要な機能・施設	他の施設との関係・役割分担
東寺方複合施設や近隣の施設（自治会館、総合体育館、消防団器具置場）などを、個々の施設という「点」としてではなく、地域という「面」としてとらえ、活用することをイメージしなければならない。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	東寺方地域に必要な機能・施設	他の施設との関係・役割分担
図書館本館の再整備後は、地域図書館を含めたネットワーク作りが大切になると思う。市の関係する部署とも連携し、進めて欲しい。	関係部署との連携は重要であると認識しており、情報を共有しながら、取組みを進めていきます。	東寺方地域に必要な機能・施設	他の施設との関係・役割分担
人の流れ等の地域の特性を考え、この場所にあるからこそ必要とされる、地域の施設とすべきである。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	東寺方地域に必要な機能・施設	
例えば図書館は、どの地域にも同じ様な施設がある。施設ごとに役割分担を行い、特徴を持たせるなど、全体的な活性化を図るべきである。	市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、市としての方針を決定します。引き続き、ご協力をお願いします。	東寺方地域に必要な機能・施設	
実際に運営している職員の声は、今後の運営にとって非常に重要である。各施設の職員にも参加して欲しい。		働く場	
市民懇談会で出された意見について、東寺方複合施設に勤めている職員の意見も聞きたい。	市民懇談会でいただいた意見は、庁内で共有しております。	働く場	
市民懇談会以外にも、ワークショップなどを開催し、より多くの市民の意見を集めた方がいい。		話し合い方 市民の参加の仕方	地域福祉 つながって暮らす
日常的に各施設の利用者がかかわる仕組みをつくり、高齢者から子どもまで、元気になる施設のモデルにしたい。		話し合い方 市民の参加の仕方	地域福祉 つながって暮らす

2018年末～2019年度当時		地域課題	
東寺方複合施設を良くする市民懇談会の意見	市の考え方	地域課題☒	キーワード
多摩市は建物が多すぎるのではないか。	多摩市の施設は他自治体と比べて豪華で量が多いのが実態です。維持管理費用が多額にかかるので、近年、各地の自治体で行われている、公民連携の手法を用いた施設整備など、東寺方複合施設においても、様々な手法が想定されます。	施設の存続、費用等について	
建物が約80%も減価償却しているのであれば、建物を改修するより、新築したほうが良いのではないか。	固定資産台帳の数値はあくまで目安であるため、償却が終わっている建物を全て新築するものではありません。ただし、新築の方がコストがかからないのであれば、選択肢の一つとなりえると考えます。	施設の存続、費用等について	
施設を存続する判断基準はあるか。改修費の予算は確保しているか。	存続については、数値だけではなく、機能や市全体の施設配置などを踏まえて判断します。予算は改修内容が決まらなないと積算できないため、確保はしていませんが、中期見通しは立てています。	施設の存続、費用等について	
図書館を減らすことは、地域の今後にとってマイナスの要素になってしまうのではないか。	状況変化を踏まえ、東寺方地域のこの場所にどのような施設が必要か、市民や利用者の皆さんと対話を行いながら、検討していきます。	施設の存続、費用等について	
施設内の機能を廃止してから、将来その機能を戻すとなると多大な労力がかかってしまうのではないか。	将来を見据え、様々な機能に転用ができる、柔軟な施設づくりを目指します。	施設の存続、費用等について	
今後の進め方案に、グループ検討とあるが、今後、市内の様々な分野で行っているようなワークショップを行うのか。	今後の市民懇談会の内容次第ですが、想定スケジュールとして提案させていただきました。	今後の進め方について	
今後の進め方に案にある、ファシリテーターとは何か。	ワークの参加者の中に入り、中立的な立場で、意見が出やすい雰囲気を作る役目を持つ人のことです。	今後の進め方について	
複合施設内の各施設の計画と整合を図りながら検討する必要があるのではないか。	今後、皆さんとの対話を進める中で、各関連計画についても共有しながら検討を進めていく考えです。	今後の進め方について	
実際に運営している職員の声は、今後の運営にとって非常に重要である。各施設の職員にも参加して欲しい。	今後、皆さんとの対話を進める中で、現場の職員のどのような視点が必要なのか、検討し対応してまいります。	今後の進め方について	
複合施設で活動している元気な高齢者の力を使って、施設を運営することは考えられないか。	運営方法についても、今後の皆さんとの対話の中で検討してまいります。	今後の進め方について	
コンビニエンスストアとの合築など、民間事業者の活力を取り入れた取組みも検討すべきではないか。	民間事業者との連携の視点は重要であると考えており、今後の皆さんとの対話の中で検討してまいります。	今後の進め方について	
ワークショップで意見を集約するとのことだが、最終的な決定権は市にある。参加者の意見を集められるように工夫し、成果は文書として残しておく必要がある。	ワークショップの進め方については、共催である「東寺方複合館の存続を考える会」と「東寺方自治会」の皆さんと十分調整の上、参加しやすい工夫をしてまいります。	今後の進め方について	
ワークショップでは、市民懇談会参加者だけでなく、施設利用者など、幅広く意見を集めてほしい。	ワークショップでは、市民懇談会参加者だけでなく、施設利用者など、幅広く意見を集めてほしい。	今後の進め方について	